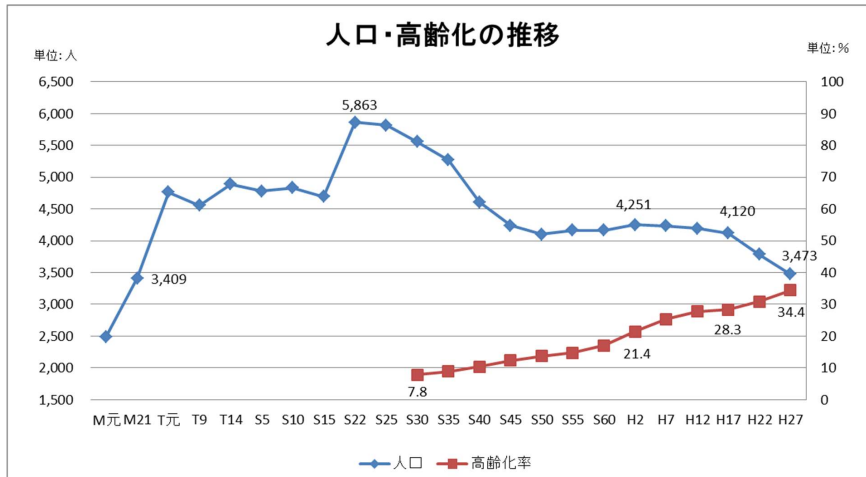


武石地域の人口と高齢化率の推移



(出典: 人口調査・国勢調査)



武石まちづくり計画 [ダイジェスト版]

～ 恵まれた自然と人の営みを大切にして、一人ひとりが輝く武石をめざして ～

住みよい武石をつくる会は、住民の自主的活動による上田市武石地域（旧武石村）の活性化をめざして、平成29年3月30日に結成されました。

武石地域の地域協議会、全18自治会、地域づくり団体や福祉・健康・農林・商工・スポーツ・PTA・消防団等の各種団体・機関の代表者や、公募者など100名余の委員で構成されています。

旧武石村は平成の大合併により、新生上田市の一周辺地域となりました。会は「住民自らが考え、実践していく」ことで、地域の存続と発展していくことをめざして活動していきます。

会では、これからどのように地域づくりを進めていくか話し合いを重ね、この計画を樹立しました。

I 武石地域の現状と課題

武石地域は、戦後のベビーブームの頃をピークとして、その後ほぼ一貫して人口減少が続いています。近年はさらに、少子化・高齢化が進み、これに伴い地域の維持に必要な人的資源も減少し、農林、商工・観光等の産業の停滞と衰退、小中学校等児童・生徒の減少、消防団を始めとする地域自治活動・集落維持活動の困難化など、生活環境、自然環境に次のような問題が生じてきています。

- ア 地域の人間関係の希薄化や、コミュニティ意識の衰退など、自治会や公民館活動が不活性化、お祭りや伝統行事への参加者も減少しています。
- イ 価値観の多様化、プライバシー意識の高まりとともに隣近所とのつきあいが希薄化してきています。
- ウ 全国的に自然災害が増加しており、生活している地域での支え合い・助け合いの仕組みづくりが必要となってきました。
- エ 独居高齢者、高齢のみの世帯、要介護者、老々介護が増加するなど、家庭での介護力が減退しています。
- オ 核家族化の進行や就労形態が多様化したことなどにより、子どもを産み育てる環境が大きく変化しています。
- カ 同世代の子どもが少なく、またゲーム機やSNSの進展、塾通い等、子どもの発達環境が大きく変化しています。
- キ 高齢者や児童生徒など、交通弱者の通院・通学・買い物等が不便になってきています。
- ク 大規模店やコンビニエンスストアの増加などにより、地域の個人経営小売店が衰退しています。
- ケ 農地や河川の管理が十分に行われず、草木の繁茂など農業生産基盤の維持の不安や農村の風景の魅力が損なわれることが危惧されています。
- コ 農林業就業者が急速に減少・高齢化し、農地や山林の管理が不十分になってきています。
- サ 松くい虫被害の拡大や林業の不振などにより地域の森林資源の損失が進行しています。
- シ 家主の転出や死亡により空き家が増加してきており、防災、防犯、景観などが心配されます。
- ス 農業体験や農家民泊などの近年の観光需要に対応ができていません。

「武石地域の現状と課題」を踏まえ、住みよい武石をつくる会では、行政や各種団体と連携し住民の皆さんと協力しあいながら、これからの10年間で次のようなまちづくりを進めます。

Ⅱ まちづくりの計画

第1 人々が明るく支えあう安全・安心な地域づくり

1 地域コミュニティの醸成と地域内外へ情報の発信

地域コミュニティを醸成し、地域の活性化を図るため、地域の様々な情報を各世代が共有できる環境を作るとともに、地域内外へ情報を発信していきます。

- (1) 自治会、公民館、消防団等地域生活を守る活動への参加の促進、活動の活性化を図ります。
- (2) 住みよい武石をつくる会広報紙の発行、ホームページによる情報発信、エリアトークによる地域情報の共有化など地域の情報システムを整備し、地域コミュニティの醸成と地域の観光情報、文化・歴史等の情報発信を図ります。

2 安全・安心な地域づくり

地域の医療や福祉などの関係機関や団体と連携を図りながら、若者が定住子どもから高齢者まで心豊かに安心して暮らせる活動を支援し、環境づくりに取り組みます。

- (1) 行政、自治会、消防団等と連携し、防災意識の向上を図ります。
- (2) 防災・景観・防犯上問題な空き家への目配りと、空き家活用の調査研究を行います。
- (3) 公的や互助などの地域にあった交通方式による高齢者、児童生徒など交通弱者の対策を研究します。
- (4) 移動販売車、通販利用など、買い物弱者の生活支援のための施策を調査研究します。
- (5) 軽トラ市や農産物直売等地産地消の推進と販売の創出を図ります。
- (6) 社会的弱者を地域全体で支える仕組みをつくっていきます。

3 健康寿命延伸に向けて

公民館やスポーツ団体と連携を図りながら、スポーツ振興、健康、体力づくり活動を通じて、すべての世代の健康増進をめざします。

- (1) ウォーキング、ヨガ、ストレッチや健康体操など、手軽な健康づくり活動を推進します。
- (2) スポーツ協会等との連携を図り、地域に根付いたスポーツの活動支援を積極的に行います。

4 子育て環境の充実

少子化が進む中、教育委員会や公民館、子育て支援団体等と連携しながら、恵まれた自然環境の中で、地域全体で子どもを守り育てるとともに、子育て環境の充実を図ります。

- (1) 通学合宿など子ども体験活動を支援します。
- (2) 子どもと大人がともに育つ活動、地域ぐるみで子供を育てていく事業を展開していきます。
- (3) 世代間交流を促進し、親子の体験活動を行いつつ子育て情報を積極的に発信します。

5 伝統文化・歴史の継承と新たな文化の発展

文化団体や活動団体を支援協力し地域の内外に文化を発信するとともに、子どもたちに武石の歴史を伝承し、地域を愛し自ら学び学習する環境を整えます。

- (1) 地域の祭りや伝統文化を継承し、ふるさとに誇りを持つ意識づくりを進めます。
- (2) ふるさとカルタなどの利用により、歴史や文化に学び、郷土愛を育む活動を実践します。
- (3) 文化団体と協力し住民の学習活動を推進します。



第2 地域資源を生かした地域づくり

1 住民交流と移住促進

美しい自然景観や、基幹産業である農業、祭りなどを活かし地域の活性化を図るとともに、地域内外の住民との交流を深め、移住を促進する活動への発展をめざします。

- (1) 地域外住民との交流を積極的に行い、地域情報を発信します。
- (2) Uターン・Iターンを増やす調査研究やイベントの開催を関係団体と連携し実施していきます。

2 農地や自然環境の保全

みどり豊かな山並み、透き通る清流、心休まる田園風景が織りなす空間を次の世代にも引き継いでいくために、農地や自然環境の保全に努めます。

- (1) 地域住民の協力により、景観保全と交通事故防止のため道路わきの草刈り等環境整備を行います。
- (2) 松くい虫被害対策等森林の荒廃防止、マツタケ生産の向上、景観保護に取り組みます。
- (3) ニセアカシア・アレチウリ等の除去活動を行い、景観保全と河川災害の防止を図ります。

3 活力ある農林業の推進と商工業の振興

活力ある農林業の推進と商工業の振興及び、域内経済の循環と活性化を図るために、既存の活動と取り組み等を支援するとともに、地域を守る新たな経済活動を創出します。

- (1) 補助金や交付金等の有効活用による、農地の有効利用、農業インフラ整備、維持管理に関わる仕組みや集落営農に向けての調査研究を行います。
- (2) 新規農業就労者、定年帰農者等支援のための調査研究を行います。
- (3) 地元食材、ジビエ、山菜、キノコ等を活用した地域特産品の調査研究を行い、地元飲食店での活用を推進します。
- (4) カラマツ間伐材の有効利用に向けた調査研究を行います。
- (5) 売り手と買い手が直接つながる、地域や生活を守る新たな仕組み「小さな経済活動」の構築をめざします。

4 農村観光の創出

農村の魅力を観光資源として十分に活用できる観光形態の創出と、既存の取り組みへの協力体制の構築をめざします。

- (1) ウォーキングコースなど武石公園エリアの活用を推進します。
- (2) 名所・旧跡の案内など観光客にやさしい環境づくりを推進します。
- (3) 田舎暮らしや農林業体験、グリーンツーリズム等体験型の観光を推進します。

